

学びの Flora

感想と運営者の思い

参加生徒の感想をお知らせします！

参加生徒の感想を抜粋してお知らせします。

公務員のイメージ、働くということ、様々に刺激を受け

とってくれたようです。



・今までは、人のためにとしか考えていなかったけれど、地域のために働くということも楽しそうで、大切なことだと思った。

・観光について共感する部分が多くありました。旭川が観光の拠点となるというのも1つの目指すカタチであってもいいんじゃないか、というのは思うところが強かった。

・小さいコミュニティの中でもSNSを利用してほんの少しでも旭川を盛り上げることにつながれると思う。自分自身も新しい魅力を発掘するために顔を上げて町を歩こうと思った。

・答えのある勉強は答えのない問題へと立ち向かうためのスキル・ツールであるという点をより一層実感した。

・小学校入学からの約10年間、答えのある問題ばかりを勉強してきたのでこれからは答えのない問題にも積極的に取り組んでいきたいです。

・「数学の答えを出すための考え方などが仕事でとても役立つ」と聞いたので、テストのためだけでなく、将来のためにとも考えて、しっかり勉強をしようと思いました。

運営者より

運営者側よりの思いはどうだったのでしょうか

私は1月25日に旭川市役所の平島淳嗣さんを招いての生徒企画版学びのフローを運営しました。いつもは話を聞くだけで終わってしまうため、聞いた話を振り返り、今後のアクションにつなげてもらうためのワークショップを企画することに生徒自身が企画する価値を見出せると考えました。

参加者に投げかけるクエスチョンを3つ設定し、アイスブレイクに近い質問から、講演の振り返り、そして最後に「自分ができる貢献は？」という問いを投げ掛けて、

他人事から自分ごとに置き換えて、今後の行動のきっかけを作ることを狙いに構成を考えました。

時間配分や指示を明確にすることなど反省点も多々出ましたので、今後の運営に活かせるように引き継ぎをしっかりとしていきたいと思います。

旭川東高校3年 華輪匠眞



「みんなの目がワクワクしていない。」私達は今回再び二人で学びのフローを主催することになり、このような昨年度の参加者から頂いた指摘を最大限に活かしながらどのようにして限られた時間の中で「楽しい学び」を生み出すかを何度も談話室で話し合いました。

二人の意見が衝突し大変だった時もありましたが、当日の参加者の方々の明るい笑顔を見るとたん、やりがいを感じ、疲労はどこかへ飛んでいきました！

旭川東高校2年 沢目 萌